

みやそうあん 三谷草庵

真岡市三谷



(撮影 上野訓宏)

高田にある^{せんじゅじ}専修寺から東へ約2kmほど
行くと、山の中に小さな^{いおり}庵があります。こ
こが三谷草庵になります。

三谷草庵は、専修寺を建設中に^{しんらん}親鸞
^{しょうにん}聖人が^{かり}仮の住まいとしたところと伝えら
れています。現在の草庵は、江戸時代後期

に三谷村の名主^{なぬし}*^{えびさわ}だった海老澤氏が^{しの}親鸞を^{こんりゅう}偲び建立したものと考えられています。

※名主 : 江戸時代の村の長（現在の村長）にあたり、村に関する全ての事務を行った。

例えば、^{ねんぐ}年貢（^{ぜい}税）を^{おさ}納める仕事や村人であることを証明する^{しよるい}書類を発行する仕
事を行った。西日本では^{しょうや}庄屋とよばれているところが多い。